

● 出題の基本方針

数学 I・A・II の範囲から出題している。出題の主な目的は、用語を正しく理解しているかどうか、基礎的な計算ができるかどうか、公式を理解して応用できるかどうかなどを問うことである。したがって出題の基本方針は、難問や奇問を避け、基礎的な問題とその応用問題を中心に出题するということである。数学的思考力の土台となる計算技能の習熟度を測るとともに、各分野における基本概念の理解と、それらを組み合わせた総合的な問題解決能力の育成を重視した問題構成となっている。

● 出題の構成

ここ数年は 5 大問での出題で、1 大問 20 点の配点となっている。

各分野での出題で構成され、各大問の前半は比較的易しく、後半では応用的な問題を出题している。

また大問 1 は小問集合の出題となっており、基礎基本的な出題傾向である。

● 学習上のアドバイス (参考)

数学の学習において最も重要なのは、基礎的な計算技能の確実な習得である。教科書の例題や練習問題を繰り返し解き、計算ミスを防ぐための検算習慣を身につけることが不可欠である。公式については、単なる暗記にとどまらず、その導出過程や適用条件を理解し、類似問題への応用力を養うことが重要である。グラフを扱う問題では、実際に座標平面上に図を描いて視覚的に理解する習慣をつけてほしい。確率の問題では、複雑な事象であっても樹形図や表を用いて系統的に整理することで、見通しよく解決できることが多い。古典的な幾何学の知識と現代的な関数の概念を結び付けて考察する力も重要である。日頃から多様な問題に取り組み、異なる分野の知識を統合して活用する経験を積むことで、総合的な数学的思考力の向上が期待される。何よりも、間違いを恐れずに積極的に問題に取り組み、試行錯誤を通じて数学的な洞察を深めることが重要である。